



2024年2月26日

2024-002号

京浜ブロック（東京都区内・川崎市内・横浜市内）乗合バス運賃改定における 上限運賃変更認可申請について

小田急バス株式会社（本社：東京都調布市 取締役社長：早川弘之）は、2024年6月1日を実施予定日とした東京都区内（23区および武蔵野市・三鷹市・調布市・狛江市）、川崎市内、横浜市内の乗合バスの運賃改定について、本日、国土交通省関東運輸局長宛てに一般乗合旅客自動車運送事業の上限運賃変更認可申請を行いました。

日頃よりご利用のお客さまには何卒事情をご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 申請理由

当社の東京都区内および横浜市内の乗合バス運賃は1997年改定以降、消費税率改定を除き26年余に亘り変更せずに輸送サービスを提供してまいりました。しかし、この間の物価の上昇をはじめ、新型コロナウイルス感染症を端緒とする新たな生活様式の定着で需要が減少しており、収支は悪化しております。

一方、マスコミでも報じられております「2024年問題」では、労働人口の減少や新改善基準告示対応による運転士不足があり当社も例外ではありません。整備士不足も顕著で、限られ、そして減少傾向にある労働資源の中から、地域の足としてのバス路線を少しでも維持するための要員確保には、運賃値上げにより得られた収益で、賃金を始めとする処遇改善を積極的に行っていく必要があります。

生活に密着した公共交通事業者の使命としてお客さまに安心してご利用いただき、安定した輸送サービスを提供するため、今般、運賃を改定いたします。東京都区内・川崎市内・横浜市内をまとめた京浜ブロックとして申請し、昨年5月に実施した川崎市内を含め、6月に普通運賃改定、7月に当社IC全線定期券に適用される定期運賃改定を実施いたします。

【表】過去20年間における労働人口の変化

	2002年	2022年	増減数	増減率
(1) 生産年齢人口（15～64歳）				(単位：千人)
東京都	8,673	9,301	+628	+7.2%
神奈川県	6,126	5,797	△329	△5.4%
2都県計	14,799	15,098	+299	+2.0%
総人口比	71.0%	64.9%		△6.1P
全 国	85,706	74,208	△11,498	△13.4%
各年10/1現在				総務省統計局HPより
(2) バスの運転に必要な大型二種免許保有者				(単位：千人)
全 国	1,185	802	△383	△32.3%
(3) 生産年齢世代の大型二種免許保有者				(単位：千人)
全 国	731	432	△299	△41.0%
各年未現在				警視庁交通局「運転免許統計」より

2. 申請内容

- 申請日 2024年2月26日
- 実施予定日 2024年6月 1日（土）
定期運賃については7月1日（月）
※認可案件につき変更される場合があります。
- 申請内容 京浜ブロック乗合バスの上限運賃変更認可申請
- 申請（上限）運賃 平均改定率9.68%
- 現行・申請運賃比較表

項 目		現 行	申請（上限）運賃	実施（予定）運賃	
普通旅客運賃	大人	現金	220円	250円	240円
		IC	220円	250円	240円
	小児	現金	110円	130円	120円
		IC	110円	125円	50円
定期旅客運賃 (IC全線1箇月)	通勤大人	9,350円	11,250円	10,800円	
	通学大人	7,480円	9,000円	8,000円	
	小 児	2,450円	4,500円	1,500円	

注1：表中の実施運賃は現時点での予定であり変更となる場合があります。認可後、あらためてお知らせいたします。

注2：申請（上限）運賃とは、一般乗合バス事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が收受しても良いとされる運賃の上限額です。

注3：実施運賃とは、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客さまから收受する運賃額です。

注4：川崎市内については2023年5月に上限250円で認可済みです。

3. 収支状況（京浜ブロック）

項 目		輸送人員	収支状況
2022年度（実績年度）		6,100万人	△6億1877万円
2024年度（平年度推計）	改定前	6,485万人	△13億9405万円
	改定後	6,293万人	△1億5299万円

※2024年度平年度推計における改定後の輸送人員および収支状況は、申請（上限）運賃での推計数値です。

4. これまでの経営改善と今後の取り組み

当社ではこれまで、ご利用状況に応じた運行計画の見直し、アイドリングストップ（エコ運転）推進による燃費削減、車両代替サイクルの延長をはじめ、不採算部門（貸切事業・旅行業・石油販売事業）の縮小・廃止や子会社設立による運行管理委託など、経費節減に努めてまいりました。

一方では新規路線・系統の開設、「IC全線定期券」の小田急線各駅での発売やMaaSアプリ「EMot（エモット）」の活用など小田急電鉄との連携による旅客サービスの拡充も進めております。近年では運行の効率化に寄与する営業所の新設・移転も実施いたしました。今後も需要の変化に対応した運行計画の見直しや路線再編など機動的に行うとともに、全社的に業務の効率化を図ってまいります。

従業員の定着には「働きやすさ」は欠かせません。当社では「小田急バスビジョン2031」を策定し、高水準の賃金実現とワークライフバランスの充実を図り、一人ひとりが「やりがい」と「誇り」を持って笑顔で長く安心して働き暮らすことのできる、「社員満足度業界ナンバーワン」の企業を目指しております。当社に限らず社会問題にもなっている運転士や整備士不足に対応するため、労働環境の在り方、給与・手当を含めた処遇についても逐一見直しを進めてまいります。

こうした取り組みにより路線ネットワークの維持に努め、お客さまへの輸送サービス提供の維持・拡充を図ると共に、環境面ではエコ運転の継続のほか、昨年11月に当社初のEV（電動）バス2両を導入したのを皮切りに、コロナ禍で控えていた車両代替を推進して、環境性能の向上した新型車両の導入により環境負荷の軽減に努めてまいります。

【画像1】「EMot」と連携した一日乗車券（イメージ）



【画像2】EVバス



5. 安全対策への取り組み

「安全はすべてに優先する」という当社安全方針に則り、今後も安全最優先に取り組んでまいります。日頃の従業員への安全講習のほか、健康管理面では引き続き睡眠時無呼吸症候群や脳ドック検査（実施年齢の若年化）の実施により健康起因事故を未然に防ぐ取り組みを強化してまいります。

ハード面では、運転士の異常時対応システム（EDSS: Emergency Driving Stop System）搭載のバス車両の導入で、万が一の際の被害軽減に努めてまいります。

【画像3】異常時対応システム（EDSS）



沿線の警察署や小学校、地域団体とタイアップした「交通安全教室」も開催し、道路利用者の一員として、バスだけでなく歩行者や自転車にも安全意識を持っていただく取り組みを通じて、交通事故撲滅の一翼を担ってまいります。

【画像4】小学校で開催の交通安全教室
(死角について)



6. サービス向上への取り組み

当社では交通系ICカードを活用した「IC全線定期券」や「一日乗車券」、65歳以上の高齢者を対象に定額をご負担いただき一乗車現金100円をご利用いただける「ナイスパス」を発売しております。通学定期券では高割引の「通学年度定期券」を2020年度から発売し、家計負担の軽減にお役立ていただいております。お客さまがお持ちのモバイル端末でそのままお支払いいただけるモバイルPASMOやモバイルPASMO定期券なども導入し、利便性向上を図っております。

一般の運賃改定では、小田急電鉄が推進する「子育て応援ポリシー」に賛同し、その一環として、小学生以下のお子さま向けに次のサービスを開始いたします。（一部既報）

(1) こどもIC50円

交通系ICカード（PASMO・Suicaほか全国10カード）でご乗車のお子さまは、一乗車50円をご利用いただけます。実施は運賃改定に先立ち2024年4月1日といたします。

(2) 小児用定期券の統合と購入条件の緩和（2024年7月実施）

小児用定期券には、学校等への通学を主目的とした「通学定期券」と、それ以外の「通勤定期券」があります。当社IC全線定期券ではこの2種を統合し、年齢条件だけでご利用目的を問わない「小児定期券」といたします。小児用ICカード購入時に年齢確認を済ませていますので、定期券購入時の通学証明書等のご用意が不要となり、通学以外の目的で日常的にご利用のお子さまも、定期券を安価にお求めいただけます。

※ 「小児定期券」は現行の「小児通学定期券」より値下げ（約4割）いたします。小児の「通学年度定期券」は3月18日から新運賃で発売いたします。暦日制定期券（〇ヶ月定期券）は6月発売分まで旧運賃のため、ご利用状況により「こどもIC50円」や「年度定期券」が安価となります。

(3) 通学定期券（中学生以上）の値上げ幅抑制

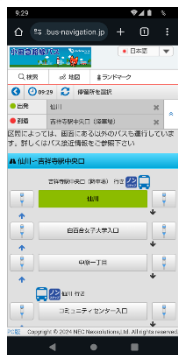
12歳以上の大人通学定期券は値上げとなりますが、上げ幅は抑えております。

運行面では、外部サイトとの連携による時刻表情報発信を行っております。また、一部区間では警察の協力による渋滞・違法駐車対策や公共車両優先システム（PTPS: Public Transportation Priority Systems）の導入により定時性確保に努めております。それでも公道を走る路線バスは他の交通や気象状況等の影響を受けや

すく遅れも発生しがちなため、バスロケーションシステムによるリアルタイムな運行状況の提供（主要停留所およびウェブサイト上）や、非常時にはホームページとX（旧 Twitter）による情報提供も行っております。

お客さまセンターへ寄せられた声は本社と現業で共有し、お客さまが何を求めているのかを把握すると共に、運転や接客などにいただいたご意見は営業所へフィードバックして教育に活かすなど、常にサービスの改善と向上に努めております。

【画像5】リアルタイムに運行情報の提供



【画像6】X（旧 Twitter）による情報提供



【画像7】Yahoo!(アプリ版)と連携した1日乗車券案内



今後もお客さまの利便性向上に向けたサービスの提供を進めてまいります。

7. 本件に関するお問い合わせ先

小田急バスお客さまセンター

電話03（5313）8330（平日10：00～16：00 土日祝・年末年始・5月1日は休業）

以上